

R 7 荒川下流管内水辺等管理支援補助業務

【評価基準】

評価項目		評価の着目点		評価のウエイト
		判断基準		高度な企画提案を要する業務
企業の経験及び能力	W・L・B等の推進に関する指標についての適合状況	複数の認定等に該当する場合は、最も配点が高い区分により加点を行う。 (1) 女性活躍推進法に基づく、えるぼし認定企業 ① プラチナえるぼし ② えるぼし3段階目（※1） ③ えるぼし2段階目（※1） ※1 認定基準のうち、「労働時間等の働き方」の基準を満たしていること。 ④ えるぼし1段階目（※1） (2) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画（計画期間が満了していないものに限る。）を策定した企業（常時雇用する労働者の数が100人以下のものに限る。） ⑤ 行動計画 (3) 次世代育成支援対策推進法に基づく、くるみん認定企業、プラチナくるみん認定企業 ⑥ プラチナくるみん認定 ⑦ くるみん認定（平成29年4月1日以降の基準） ⑧ トライくるみん認定 ⑨ くるみん認定（平成29年3月31日までの基準） (4) 青少年雇用促進法に基づく、ユースエール認定企業 ⑩ ユースエール認定		(1) ① 5.0 ② 4.0 ③ 3.0 ④ 2.0 (2) ⑤ 1.0 (3) ⑥ 5.0 ⑦ 3.0 ⑧ 3.0 ⑨ 2.5 (4) ⑩ 4.0
	業務経験	配置予定技術者（主たる担当者）の過去10年間の同種又は類似業務の実績	下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。 ③ 業務実績が無い場合は特定しない。	① 2.0 ② 1.0 ③ 特定しない
配置予定技術者（主たる担当者）の経験及び能力	専任性	手持ち業務量	配置予定技術者（主たる担当者）の手持ち業務量（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）が4億円以上または10件以上の場合は特定しない。	数値化しない
当該業務の実施体制	業務実施体制の妥当性		下記に該当する場合は特定しない。 ・再委託の内容が主たる部分の場合。 ・業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。	数値化しない
業務の実施方針及び手法	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	8
	実施手順		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	8
	工程表		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	8
	その他		有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	8
			なお、業務の目的が理解されておらず、実施フローや工程計画の妥当性が著しく劣る場合は特定しない。	数値化しない
特定テーマに対する提案	特定テーマ	的確性	・必要なキーワード（着眼点、問題点、解決方法）が記述されている場合に優位に評価する。 ・業務の的確性に著しく欠ける場合は特定しない。	16
		実現性	・提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ・業務の実現性に著しく欠ける場合は特定しない。	16
		独創性	・周辺分野、異分野技術を援用した、高度の技術手法の提案がある場合に優位に評価する。	16
参考見積	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積もりが不適切な場合には特定しない。	数値化しない

- 同種業務 : ボランティアが参加する清掃・美化活動の運営を行った業務
- 類似業務 : ボランティアが参加する活動の運営を行った業務（同種業務を除く）
- 特定テーマ : 市民団体や民間企業等の参画を拡大するための留意点

企画競争方式における特定結果書

1. 業務名

R7荒川下流管内水辺等管理支援補助業務
2. 所属(事務所)名

荒川下流河川事務所
3. 企画競争方式

企画競争の実施の公示を行う企画競争
4. 企画提案書の提出要請日

令和7年2月17日
5. 公示日

令和7年1月27日
6. 特定通知日

令和7年3月14日

企画提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	○	

企画競争評価表

- 業務名 R7荒川下流管内水辺等管理支援補助業務
- 所属(事務所)名 荒川下流河川事務所
- 企画競争方式 企画競争の実施の公示を行う企画競争
- 企画提案書の提出要請日 令和7年2月17日
- 特定通知日 令和7年3月14日

評価項目	評価の着目点		評価の 配点	1
				特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
				配点
企業の能力	W・L・B等の推進に関する指標 についての適合状況	ワーク・ライフ・バランスを推進する 企業として関係法令に基づく認定等の状況	5	1
配置者（予定者）の 業務経験 （技術者及び 経験者）の 能力	業務経験	過去10年間の同種又は 類似業務の業務実績	20	20
	専任性	手持ち業務量	数値化しない	数値化しない
当該業務の実施体制	業務実施体制の妥当性		数値化しない	数値化しない
業務実施方針及び手法（実施方針・実施フロー・工程表・その他）	業務理解度	目的、条件、内容の理解	8	6.6
	実施手順	実施手順の妥当性	8	5.3
	工程表	業務量把握の妥当性	8	5.3
	その他	重要事項の指摘	8	6
特定テーマに対する提案	特定テーマ	的確性	16	8
		実現性	16	12
		独創性	16	8
参考見積	業務コストの妥当性		数値化しない	数値化しない
計			105	72.2